

ESD21新春イベント、東桜会館、2026年2月2日



# TPSのDX/AIによる進化と AI時代のTPS普及に向けて

**黒岩 恵**

(一社)持続可能なモノづくり・人づくり支援協会(ESD21)  
トヨタ社友、名工大/九工大 元客員教授

# AGIの夜明け：ダボスでの激論



AGIの夜明け：ダボス  
での激論



# ダボス会議2026で、AIの巨頭2人が語るAGI/ASI

司会者:Zanny Minton Beddoes 英「エコノミスト」誌 編集長

-デミス・ハサビス (Demis Hassabis) Google DeepMind 共同創業者兼CEO

围棋AI「AlphaGo」やタンパク質構造予測「AlphaFold」主導。神経科学の博士

-ダリオ・アモディ (Dario Amodei) Anthropic(アンソロピック)共同創業者兼CEO

元OpenAI幹部。AIの安全性(AI Alignment)を最優先する企業文化を築く。

## 登壇者の強調した6つのポイント

- ①自己改善ループによる加速
- ③労働市場の適応と「意味」の危機
- ⑤「技術的思春期」の克

- ②科学的「問い合わせ」を立てる難しさ
- ④地政学的競争とチップ制限、
- ⑥AIがAIを作る時代の到来

**「AIがAIを作る時代の到来」 AIシステムがAIシステムを構築するプロセスの進展。**



FULL DISCUSSION: Google's Demis Hassabis, Anthropic's Dario Amodei Debate the World After AGI  
<https://youtu.be/02YLwsCKUww?si=jM5CLbdCC-iLq2W>

# AIの70年：過去の冬から2026年の革命へ

1956年の誕生から2度の「冬の時代」を経て、AIは今、社会の基盤を根本から変える革命前夜にあります。このインフォグラフィックは、過去の長い道のりと、目前に迫る2026年の創的な変化を対比して描き出します。

## 過去：長い道のりと2度の冬



### 1956年：AIの誕生

ダートマス会議で「人工知能」という言葉が誕生。実験的な予測とは裏腹に、道のりは険しかった。

### 最初のブームと冬： パーセプトロンの熱狂と挫折

学習する機械への期待が高まるも、数学的な眼鏡の証明により最初の「冬の時代」へ。



### 最初のブームと冬： パーセプトロンの 熱狂と挫折

学習する機械への期待が高まるも、数学的な證明により最初の「冬の時代」へ。

### 2度目のブームと冬： エキスパートシステム の成功と限界

専門家の知識を搭載し効率的に成功したが、知識獲得の困難さから再び停滞期に。

## 未来：2026年 革命前夜



### 知能のインフラ化： AIが電気や水のように 社会基盤となる

誰でも安価に最高の知性を利用可能になり、産業構造が根本から変わる。

### 自律型エージェントの登場： AIが自ら思考し、タスクを 完結

人間の指示を超えて、目的設定から実行までを追う「デジタルの分身」が活動を開始。



### 人間の価値の再定義： スキルから 「意志」と「問い」へ

AIが知的作業を代替する中、何を成し遂げたいかという目的意識が最も重要になる。

### 自律型エージェントの登場： AIが自ら思考し、 タスクを完結

人間の指示を超えて、目的設定から実行までを追う「デジタルの分身」が活動を開始。

# AIの賢人達は、今後の生成AIをどう語っているか

「AIという名の新しい『魔法の杖』が、一部の魔法使いの手を離れて世界中の人々に配られ、生活のあらゆる隙間を埋め尽くすと同時に、その強力な魔法を制御するための新しいルール作りを人類が迫られている状態」と言える。

1. サム・アルトマン(OpenAI CEO) 自律型エージェントが実装
2. サンダー・ピチャイ(Google CEO) 知能が火や電気以上の不可欠なインフラに。
3. サティア・ナデラ(Microsoft CEO) 誰もが開発者になれる時代が来る。
4. イーロン・マスク(xAI/テスラ CEO) 人型ロボットの普及。人間は肉体労働から解放
5. ジエンスン・ファン(NVIDIA CEO) 現実世界で活動する物理AI
6. デミス・ハサビス(Google DeepMind CEO) 科学的発見を工業化。 (ダボス会議)
7. マーク・ザッカーバーグ(Meta CEO) オープンソースが知能を民主化。
8. グリオ・アモデ(Anthropic CEO) 知能の安全性と倫理を最優先 (ダボス会議)
9. ジエフリー・ヒントン(トロント大学教授/AIの父) AIの学習効率が生物を凌駕
10. レイ・カーツワイル(未来学者/Google) 生物と非生物の知能融合の決定的な一步

# 日本の勝ち筋：「フィジカルAI」への戦略的ピボット



## Global Giants (US/China)

主戦場：デジタル空間

武器：大規模LLM・計算力 (Scale)

アプローチ：圧倒的資本による物量戦

内閣府AI戦略会議から  
司令塔「AI戦略本部」



## Japan's Strategy (日本) 差別化 (Differentiation)

主戦場：実世界 (Real World)

武器：フィジカルAI・質の高い現場データ

アプローチ：製造・医療・サービスの  
「身体知」を活用

目標：世界で最もAIを開発・活用しやすい国

# ものづくりの原点回 帰

